

大学連携による多職種連携教育 (IPE) の学習効果の評価と効率的方略の研究

2020年4月1日-2022年3月31日の間に本学で多職種連携実習を受講する学生さんへ

研究協力をお願い

本研究は、複数の単科医療系大学の臨床実習生が、合同でカンファレンスを行うことで、どのような効果がみられるかを検討する研究です。これにより、我々の行う多職種連携教育についての評価を定量的に行い、蓄積し、医薬看護学部教育における効果的な職種連携教育の学習方策を見出すことを目的とします。

また、大学間を超えるこのような連携はわが国でも珍しく、今後の医療系大学の多職種連携の道標になると思われま。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：大学連携による多職種連携教育 (IPE) の学習効果の評価と効率的方略の研究

研究期間：2020年4月1日 (倫理委員会承認後) -2022年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 救命救急科 横堀将司

(2) 研究の意義、目的について

前述のように本研究は多職種連携教育 (IPE) を目指した複数医療系単科大学の連携により行われるものです。

近年の医学教育において IPE は重要であるといわれています。しかし、実際に有効であるか、報告がすくないのが現状です。

また、本研究のように実際の患者さんのケースカンファレンスを学生同士で行うことの有効性も明確ではありません。この研究を行うことで、IPE をどのように行うべきか検討することができます。

(3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類)

日本医科大学 (主施設)、東京有明医療大学、文京学院大学、明治薬科大学の臨床研修学生が研究対象者になります。

授業として IPE 演習を行ないますが、その際に前後でアンケート調査・心理学的検査を行います。

実際の患者さんのデータをもとに、治療方針決定のための1-2時間のテーブルディスカッションを行います。医学生、看護学生、薬学生が参加します。その前後で社会性スキル (KiSS-18) や多職種連携を理解し得たか評価する尺度調査 (RIPLS) などをを用いて評価します。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 救命救急科 横堀将司

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131 (代表) 内線：24325

メールアドレス：shoji@nms.ac.jp